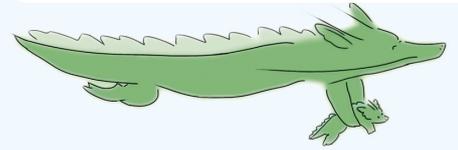


金井ひろし レポート 区政活動報告



- 一般質問を終えて
- インターン生の紹介
- タウンミーティング&勉強会
- 気仙沼被災者裁判の報告
- 子育てのつどいと味噌



District Administration Report & Activity Report

No.21 2024年 新春2号

〒152-0032 東京都目黒区平町 1-21-20-303
TEL 080-5195-2909
E-mail : kanai.hi64@gmail.com

一般質問を終えて

2月20日(火)、55分にわたる質問が終わりました。テーマは「子どもたちの新しい学びと居場所、特別支援教育」「コモン (COMMON)」「広聴」についての3問です。

(1)「学習支援教室エミール」

今学校に通えない、通いたくないという子どもが急増しています。本区には「学習支援教室エミール」がありますが、区内1か所にしかないことが問題。西部地区から相談に訪れる方には親子で揃って来ること距離の壁を感じる。拡大し、支援策を充実するお考えは？

⇒答弁 認識している、全体の25%にあたる83名がエミールに通級。来年度西部地区の1館に派遣しモデル事業開始。

(2)「フリースクール」

フリースクールの取り組みですが、オンラインの活用してはどうか。全児童・生徒にタブレット端末が行き渡っていることを踏まえ、少しずつ着実に充実させていく考えがあるか、多様な学びについては？

⇒答弁 来年度、タブレットを使用して始められるように準備している。正確な時期はまだ申し上げられないが来年度から開始する。

夢パーク・えん」に代表される子どもたちのサードプレイスも有名ですが、区内にも徐々に出来つつあります。主役はあくまでも「子どもたち」であります。子どもたちからアイデアを募る、今活動している団体のアシストをする、目黒区ができる公的な場所にフリースペースをつくるといった考えがあるか？

⇒答弁 サードプレイスの重要性は認識。どのように整備していくか検討していく。

次に2問目の「コモン (COMMON)」についてですが、以下。

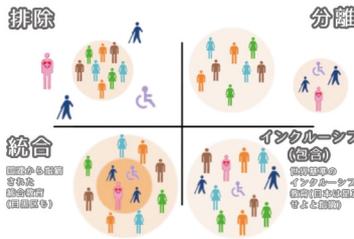
(1)「これからの公共のあり方」

みんなの共有財産をコモンと呼ぶそうです。DBO(※1)、PFI(※2)といった手法により、公共サービスを民間が担うようになってきました。神宮外苑再開発で企業が公園樹木の伐採を計画したが、猛反対にあい計画の見直しを迫られています。営利ばかりを追求することが問題になりました。神宮の森をみんなの共有財産として認識したから、共感を呼んだのです。

一度公共財が民間に開放されてしまうと、生活に必要なものでもすべてにお金がかかり、所得が低い方には非常に厳しいことにもなりかねません。ですか

(3)「特別支援教育」

この、特別支援教育についてですが、日本及び本区のインクルーシブ教育システムと、世界標準のインクルーシブ教育について考え方の違いを認め合い、是正していきたい。(※イラスト参照)



左下の絵が日本の進めているインクルーシブ教育システムです。そして、右下の絵が、目指すもの。私は2022年11月の第4定例会で取りあげ、その時の答弁としては「国が進めるインクルーシブ教育システムを進めていく」として、国連からの勧告はスルー。国が推奨しているのが、壁を作っているインクルーシブ教育システム。世界標準は内包する、多様な学びを推奨しているインクルーシブ教育となっております。このずれについてどのように受け止めるのか？

⇒答弁 国に従う。



(4)「新しい学び方」

子どもたちの新しい学び方について。教室での主役は誰なのか？「子どもたち」です。社会全体が多様化する中で、いまだに画一的な学び方を押しつけていないか？子どもたちから提案を受けて、子どもたちが学びたいことを学ぶ。「学ぶ」ということは変わらずとも、学び方が変わってもいいのではないかと。6年前から山形県天童市の小学校で、この取り組みが始まっています。今では不登校はなくなったそうです。思い切ってチャレンジしてほしいが区の見解は？

⇒答弁 様々な手法があり、重要性は認識。魅力ある学校づくりに取り組む。

(5)「サードプレイス」

アフターコロナの今、大人にとっても「サードプレイス」というのは必要だという認識が広がっています。私のサードプレイスは海の上です。子どもにとってのサードプレイスとはどこにあるのか？「川崎市子ども

ら事業者をしっかりと選ぶことも、条件整理をすることも重要だと考えます。近隣住民・消費者・労働者など多様な意見を反映させることがこれからの時代に求められて行くのではないのでしょうか。

世田谷区の事例ですが、等々力溪谷のそばにある公務員宿舎跡地を世田谷区が買い上げました。2018年から基本計画・設計の策定に近隣住民が深く関わり、想いが色濃く反映された計画となりました。



徒然トーク

インターン生のご紹介

インターン生のご紹介。毎年2-3月、8-9月に受け入れているインターン生を紹介します。数々のインターン生を受け入れてきましたが、今回はなんと「高校生」です。更に年齢差が広がりました。また、活動スタイルも期末試験の考慮をし、夜の時間も気を遣いながら活動しております。3月に入り本格的に動き出しますので、みなさんにお会いしたら優しく見守ってください。この間、だいぶ自己紹介の挨拶もしっかりしてきました。本人の感想は活動終了後に掲載しますので楽しみにしてください～



誰もがともに学び、育ち、「共に生きる！」

Create a society where everyone can learn and grow together and realize "unity in diversity".
누구나 같이 배우고, 성장하고, '같이 사는 세상!' / 全员互助互学, 共同成长, 实现“共生向荣”

町立憲民主党

2018年6月以降、延べ1万5316人の住民が173日間にわたって、跡地を散策・対話を重ね、公園の未来を描きました。近隣住民の一人は区の説明会に「フレームを言う気満々」で乗り込みました。しかしながら、区が設けた様々な対話の機会や、現地見学会などで、対話を重ねるうち、未来の公園像ができあがり、関わるなら良い公園にしたいとプレーヤーに変化していったといいます。主体的に関わることで不安が消えていったと言います。

そこで、目黒区の様々な計画について、最初は「まだ固まっていないので公表できない」と言われ、次に発表されると「素案から大きな変更はできない」と言われる。これだと住民の意見を反映させるのが非常に難しい。これからの公共財産のあり方について区の見解は？

⇒答弁 区としても早急に整備していく、区民がいかに有効活用をしていただけるのかを考え進めて行く。

(2)「みんなで作る地域社会」

主役は誰なのか、それは区民だと考えます。みんなで作る、みんなで作る地域をどのように作っていくのか区の見解は？

⇒答弁 区民の思いを描く、集い、学び、育み、支えあう、憩うなど、それぞれの活動イメージをカタチにするとともに、区民の主体的な活動をより醸

が対象となっていることが疑問符をつけざるを得ませんでした。傍聴もなしというありさまでこれ「車座トーク」と言えるのか、この時の答弁で、基本計画に基づく新しい広聴の取組という答弁があります。自治会・町会だけで広聴といえるのか、課題と今後の取り組みについて区の見解は？

⇒答弁 様々な事情があり、試行止まりであった。今後模索していく。

以上大きく3問伺いました。答弁後、再質問は4問に絞りました。

まず、Eメール。小・中学校の不登校児童・生徒の約25%にあたる83人がめぐるEメールに通級だが、その他の約75%の不登校児童・生徒について教育委員会としてどのような支援を行っているのか？

⇒答弁 不登校となった児童・生徒の一人ひとりの状況に寄り添い、学校と連携して、専門機関につなげる支援を行っている。

次に、サードプレイスについてですが、答弁の中で中高生の4割が「自由に過ごすことの出来る場所」を挙げていました。そこで、住区センターの打ち合わせをするスペースをいわゆるオープンスペースとして整備する考えがあるか？

⇒答弁 安心して過ごせる場所の検討を進めている。

次にコモンについて、新しい区民センターが出来たときの「運営」についてですが、区民が中心になって、みんなで運営していくという意識をもって関わ

ることができる工夫を凝らしながら、みんなで作っていると感じていただけるよう努めてまいります。

3問目は「公聴／広聴」について伺いました。

「国民や住民の行政に対する意見・要望などを聴く活動」を表す同義の言葉として使われています。一般的には「広く聴く」ほうが多く用いられております。様々なパブリックコメントを行っていることは承知の上ですが、やはりパブコメは形式的なものになっていないか、検証は必要だと考えました。今回取りあげたのはコロナ前まで行っていた「区民と区長のまちづくり懇談会」についてと、「ずっと めぐる」車座トーク」の2点です。

(1)「区民と区長のまちづくり懇談会」

この「懇談会」はコロナ禍にあつて早々に中止。令和2年度から5年度までの4年間は一度も開催されていません。令和2年、3年は仕方ないにせよ、それ以降はオンライン開催を模索するなどあったのではないかと疑問に思います。そういった方法が取れなかったのか？

⇒答弁 フェイスブックフェイスの関係を大事にしたい。

(2)「ずっと めぐる」車座トーク」

新しい形で「ずっと めぐる」車座トーク」が試行されました。令和4年の企画総務委員会で報告がありましたが、クローズな場となっている、開かれた目黒区とは真逆、対象についても町会・自治会のみ

るようにして頂きたい、また、例えば学校の建て替えにおいても早くからみんなで作っていく意識を醸成し丁寧に進めてもらいたいと思いますが所見は？

⇒答弁 多様な区民の意見をできる限り反映させていきたい、区民が参画できる取り組みも努めていきたい。

最後に広聴について、「車座トーク」を、令和6年度には、再開してほしい。その際、所管部署がない団体、例えば、区内の高校・大学・区内在勤者などとしてほしい。区に直接の所管部署がある団体、例えば、商店街などは、その所管部署を通じて区に意見を述べるのが容易であるが、所管部署がない団体等はそれが難しい。これについての所見？ また「車座トーク」のように看板を掲げて行う懇談会だけでなく、区民が「区長と直接話したい」と考えた場合、面談に応じてほしい。世田谷区長はどんな人、団体でも等しく面談に応じていることも踏まえて区長の区民に向き合う姿勢を伺いました。

⇒答弁 世田谷区長がどんな手法を用いているのか伺っていきたい。

《用語解説・補足》

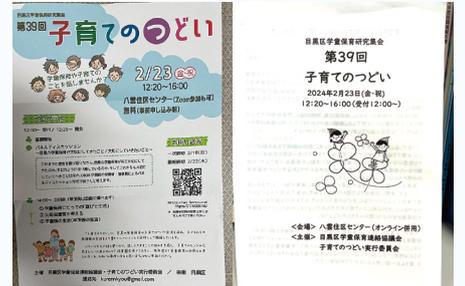
- ※1 公設民営方式・DBO=資金を区が調達、設計・建設・運営を民間が行う方式。
- ※2 民設民営方式・PFI=資金を民間が調達し、設計・建設・運営を民間が行う方式。

補足・紙面が足りず本当に心苦しいのですが、かなり文字を削りました。QRコードは当日の質疑がアーカイブで見られます。こちらもぜひご覧ください。



子育てのつどい

先に紹介したインターン生と共に参加しました。学童保育クラブの保護者・指導員が主催し、今回はクロストークが前半目玉。後半は分科会という流れになります。私もほぼ毎回参加しております。今回は民営化された学童保育クラブから指導員が参加されていたことはBIG NEWS！民営化された後もしっかりと連携を取って子どもたちのためにいい学童保育クラブを育てていきたいですね。



我が家の恒例行事～味噌作り～

毎年2月に仕込んである金井家特性味噌。家族総出で1～2年使う味噌を仕込みます。17年目に突入です。つまみ食いする茹でた大豆が美味しいんですよ。麴を混ぜた味噌玉もつまみ食い、これも美味。5月に天地返しを行い10月頃から食べられます。お裾分けしまするので、遠慮なくリクエストください！



3/17
日曜日

タウンミーティング & 勉強会

時間：3月17日(日) 14～16時
場所：緑が丘小学校ランチルーム

区政報告と以前より取りあげている、「保育園」「学童保育クラブ」の民営化について勉強しませんか？ また、今後直前の呼びかけを改めますので、年間の予定にしたいと思います。

次回以降 5月19日(日)・8月25日(日) に予定したいと思います。また、12月については会派の仲間も含めて開催できるか検討中です。

3/25
日曜日

気仙沼被災者裁判の報告

去る1月31日に、15:30～東京地裁の615号法定で開かれました。前号でもお知らせしましたが、「結審」にいたらず、「最終準備書面」で新たな主張をするという、法曹界の掟破りをしました。そのことで「結審」は延期となりましたが、いよいよ「結審」の日取りも決まりましたのでお知らせいたします。

3月25日(月) 東京地裁 606号室 13:10～

です。ぜひともお越しください。その後、弁護士も交えた集会有ります。そこでは分かりやすく解説もありますので、ぜひ最後までお時間作っておいでください。



こんにちは！金井ひろしです。

区政・活動報告レポート No.21 2024年3月2日発行
編集発行人：金井ひろし 〒152-0032 東京都目黒区平町1-21-20-303
TEL：080-5195-2909 E-mail：kanai.hi64@gmail.com



facebook



twitter



Official Web Site



金井ひろし E-mail